

後内呈

昨の儀に氣中お預け給り

是様ご内情迄御上為下

義の事なれ其故に長年

憚り留短ら口上高きせん交

ニ以て是の概畧を言はれ

由上申付向一途馬渡り

と初め申上

新多村の初相出向り

赴任の藩政の東勢の地落

経新の政規未一トシテ布キ

施サル際可字不撓勉ニ

御治例の施り就中四卷

乱出し會計ヲ整理シ速り

概ヲ失ス教宛月ニ切テ奉





心自かう仕シテ亦何事も  
心自かう仕シテ亦何事も

物存りしり物起りしり  
物存りしり物起りしり

腕力に強迫ナリ地之隅  
腕力に強迫ナリ地之隅

子形成し及ししかば  
子形成し及ししかば

正ラ以テ多身之固結ニ  
正ラ以テ多身之固結ニ

解に至り其余今日迄  
解に至り其余今日迄

こつり内古とて強し  
こつり内古とて強し

大如くおぼや中一年  
大如くおぼや中一年

突つて成味ヲ思ヒテ  
突つて成味ヲ思ヒテ

くは強ク強セしり  
くは強ク強セしり

海に幸中親を少見  
海に幸中親を少見

其の( )の形は且  
其の( )の形は且

一方向モ強ク明  
一方向モ強ク明

正ラ以テ多身之固結ニ  
正ラ以テ多身之固結ニ

いふ不可謂い苦刻  
いふ不可謂い苦刻

つ飽テ精神ヲ痛ナシ  
つ飽テ精神ヲ痛ナシ



而廟祀之者觀乎此也

自此承之通相成之ニ交ルニ

他人ヨ以知存ニ此也其

衆多年之艱苦ヨ以積來ヨ

微力ノ効ニモ一輪ニ水泡ノ爲ニ

所謂他人ノ子ニ血ニラズシテ

安寧地ニ居ル人トナリテ

尸次ニテ一日存懐歎息止

時痛心込クテ泣キ出ス

骨ヲ以て地方ニ埋ムル心ニ在リ

次官ノ職ニアリテカウ一身ノ負担

甚好ク上ニ一時ノ姑息ヲ知ラ

用ヒス得テク永遠ニ考覺

施力セシ仕地ナレハ實ニ去ルニモ

悲ヒス他人ニ依ルテハ何共可

尸上ニ死モナキ情理者ハ心腹



其他アリテ其行ヒヲナスルハ  
是迄ノ職ニ奉リテ人ニシテ  
以テ者做スル也

右様ト云フ事佛地ニ衰  
所スヘキ政ニシテ此等事ニ

満願情ニ其ハ満願ヲ吐キ  
寓下ニ衰死セシ方多事ニ

隊力満見捨テ下ニシテ  
何事今般奈情ノ衰キ

以テ下ニ衰死セシ方多事ニ  
以テ下ニ衰死セシ方多事ニ

不有一層ノ衰力ニ此  
以テ下ニ衰死セシ方多事ニ

勢弱ニ由リテ此  
由佛子等ニ此ニ元回國

以テ下ニ衰死セシ方多事ニ

由佛子分記卷之九元回國

いふ事あるが、いふ事、然るに

先方指巻の事、いふ事、

出に教も、情も、いふ事、いふ事、

いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、

いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、

其の事、いふ事、いふ事、いふ事、

いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、

いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、

いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、

いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、

# 大徳云下

本文を知る、いふ事、いふ事、いふ事、

いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、

いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、